

シンポジウム 『大学のアクティブラーニング』

—演習・ゼミ・実験などの正課のアクティブラーニングをいかに活用するか—
～経済・経営・商系学部と工学部(機械、電気・電子)の全国調査から見てきたこと～

有料(要申込)
※調査報告集合含む

- 社会の変化・学生の変化の中で、世界的な流れは「学習者中心」の教育へ、そのキーをなすのが アクティブラーニングです。
- 知識定着のためのアクティブラーニングから、知識を活用するPBL・創成型のアクティブラーニングまで、大学の正課の教育にいかに組み入れるべきか。
- 経済・経営・商系学部と工学部(機械、電気・電子系学科)を対象とした全国大学調査の報告と大学からの事例報告を基に、そこで浮かび上がった問題を掘り下げるシンポジウムです。

シンポジウム概要

第1部 河合塾からの報告

全国の経済・経営・商系学部298学部、工学部(機械、電気・電子系学科)252学科への「4年間を通じた大学のアクティブラーニング」アンケート調査を実施。その回答分析から、アクティブラーニングの導入度合いが高いとみられる経済・経営・商系学部17学部、工学部(機械、電気・電子系学科)21学科へ訪問取材。これらから明らかになったアクティブラーニングの導入状況を分析・紹介し、同時に学生を送り込む側から期待するアクティブラーニングのありかたを提起します。

第2部 大学からの事例報告

「4年間を通じた大学のアクティブラーニング調査」から明らかとなった、先進的取り組みを行っている大学からの報告。各日程ごとに、それぞれ異なった2大学からの報告があります。

第3部 問題提起とシンポジウム

工学部向けには林一雅(東京大学特任助教)、経済・経営・商系学部向けには溝上慎一(京都大学准教授)からの問題提起を受け、その後、会場での全体討議を通じ大学でのアクティブラーニングの在り方について議論を深めます。

★ 大学事例報告 I・IIにおける報告大学は各日程ごとに異なります。

※ 各事例報告の後に参加者同士で意見交換するアクティブタイムが15分設定されています。

東京会場	Time Table	1月7日(金) 工学部	1月8日(土) 経済・経営・商系学部
	2011年1月7日(金) 1300-1800 工学部 1月8日(土) 1300-1800 経済・経営・商系学部	12:15~ 開場 13:00-14:25 第1部 河合塾からの報告 14:35-16:00 第2部 大学からの事例報告 16:10-17:00 第3部 問題提起とシンポジウム 17:00-18:00	開場 第1部 河合塾からの報告 第2部 大学からの事例報告 室蘭工業大学 工学部 情報電子工学系学科 教授 青柳学 秋田大学 工学資源学部 機械工学科 教授 神谷修 第3部 問題提起とシンポジウム 問題提起 林一雅 シンポジウム

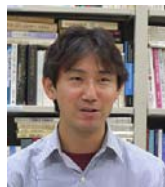
大阪会場	Time Table	1月9日(日) 工学部	1月10日(祝) 経済・経営・商系学部
	2011年1月9日(日) 1300-1800 工学部 1月10日(祝) 1300-1800 経済・経営・商系学部	12:15~ 開場 13:00-14:25 第1部 河合塾からの報告 14:35-16:00 第2部 大学からの事例報告 16:10-17:00 第3部 問題提起とシンポジウム 17:00-18:00	開場 第1部 河合塾からの報告 第2部 大学からの事例報告 岡山大学 工学部 機械工学科 教授 塚本真也 金沢工業大学 教務部長 教授 佐藤恵一 第3部 問題提起とシンポジウム 問題提起 林一雅 シンポジウム



林一雅
東京大学教養学部
附属教養教育高度
化機構 アクティ
ブラーニング部門 特
任助教

<略歴>

専門は教育学、設計工学。2007年 東京都立科学技術大学大学院工学研究科 博士後期課程退学。2005年 豊橋技術科学大学工学部生産システム工学系 教務職員、助手。2007年 東京大学教養学部附属教養教育開発機構 特任助教を経て、2010年4月より現職。



溝上 慎一
京都大学高等教育
研究開発推進セン
ター 准教授

<略歴>

専門は青年心理学、大学生論。京都大学博士(教育学)。日本青年心理学会、大学教育学会理事等。
1996年 大阪大学大学院人間科学研究科博士前期課程修了。京都大学高等教育教授システム開発センター助手、講師を経て2003年より現職。

コーディネーター(東京会場・大阪会場)

成田 秀夫
河合塾
現代文科講師



<略歴>

中央大学大学院・博士課程(哲学専攻)在学中から、河合塾にて現代文科講師を務める。授業では「わかることの愉しさ」を追求。また、大学生向けの「日本語表現講座」を開発し、自らも大学の教壇に立つ。2010年より、初年次教育学会理事を務め、講演会・シンポジウムのパネラーも精力的にこなしている。

シンポジウムでの論点と課題

- 知識を活用するPBL・創成型のアクティブラーニングが、大学ではどの程度導入され、どのように活用されているのか、その現状と課題は？
- 知識の定着を図る演習や実験のアクティブラーニングは、どのように講義型科目と連携しているのか、その現状と課題は？
- アクティブラーニングにおけるチームティーチングの有効性は？
- 大学4年間を通じてどのような能力要素を伸ばそうとしているのか？

会場ご案内

<東京会場>

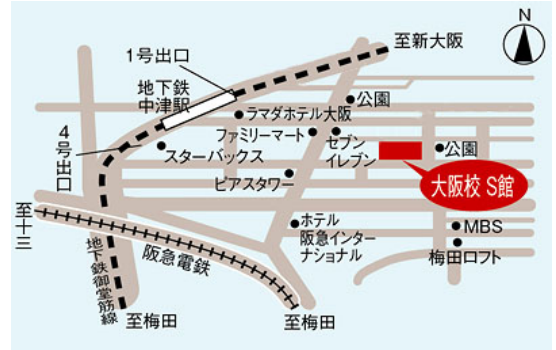
河合塾 麹町校8F(テルファイホール)
東京都千代田区六番町1-3



- ・JR総武線市ヶ谷駅より徒歩3分
- ・東京メトロ有楽町線・南北線・都営新宿線市ヶ谷駅3番出口より徒歩3分
- ・JR中央線・総武線四ツ谷駅麹町口より徒歩5分
- ・東京メトロ丸ノ内線・南北線四ツ谷駅1番出口より徒歩6分
- ・東京メトロ有楽町線麹町駅6番出口より徒歩2分

<大阪会場>

河合塾 大阪校S館3F(301教室)
大阪市北区豊崎 3-13-1



- ・地下鉄御堂筋線中津駅4号出口より徒歩2分
- ・阪急梅田駅茶屋町口より徒歩6分・阪急中津駅より徒歩6分
- ・JR大阪駅より徒歩11分

申込方法(定員になり次第締切りとさせていただきます) / お問い合わせ

- 【お申込み期間】 2010年11月15日(月) ~ 2011年 1月 5日(水)17:00
- 【参加費用(報告書代含む)】 おひとり様1会場につき ¥10,000(当日受付にてお支払い願います)
- 【お申込み方法】 下記WEBサイト、またはFAXでお申込みください。

WEB: <http://www.kawai-juku.ac.jp/school/event/active/>

FAX : 03(5958)1247

- 【お問い合わせ】 電話:03(6811)5531(※平日10:00 ~ 17:00) 河合塾教育研究部 担当:野吾(やご)、朝岡、早嶋
e-mail : zemiryoku@kawai-juku.ac.jp

FAX 申込み用紙: 03(5958)1247

河合塾「大学のアクティブラーニングシンポジウム」担当 行

学校名、教育機関名、企業名:		住所:〒	
電話番号:	FAX番号:	e-mail:	
氏名:	所属部署:	役職:	参加会場:(※該当に○) 1/7東京(工) 1/8東京(経) 1/9大阪(工) 1/10大阪(経)
※複数でご参加いただける場合			
氏名:	所属部署:	役職:	参加会場:(※該当に○) 1/7東京(工) 1/8東京(経) 1/9大阪(工) 1/10大阪(経)
氏名:	所属部署:	役職:	参加会場:(※該当に○) 1/7東京(工) 1/8東京(経) 1/9大阪(工) 1/10大阪(経)
氏名:	所属部署:	役職:	参加会場:(※該当に○) 1/7東京(工) 1/8東京(経) 1/9大阪(工) 1/10大阪(経)
氏名:	所属部署:	役職:	参加会場:(※該当に○) 1/7東京(工) 1/8東京(経) 1/9大阪(工) 1/10大阪(経)

■ 本申込書でお送り戴きます情報(個人情報含む)は、お申込みのシンポジウムの運営についてのみご利用させていただきます。